

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書④

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	岐阜本巣特別支援学校中学部2年生 重複学級 男子1名 女子3名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (自立活動) ② 行事名 (ゆめフェスタ) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	自立活動での目標 ・座位や立位姿勢を、安定させながら保持することができる。 ・教具に合わせて身体を動かすことができる。
5 取組内容	・あぐら座位 ・独歩 ・箱いすこぎ ・箱運び 以上の活動をゆめフェスタステージ発表で、オリンピック競技に見立てて発表した。 ・カヌー選手（あぐら座位） ・マラソン選手（独歩）   ・競輪選手（箱いすこぎ） ・重量挙げ選手（箱運び）  

6 主な成果	普段日常的に取り組んでいることを、オリンピック競技に見立てることで、発表においてもまとまりが出て、生徒の頑張りが見ている方たちによく伝わった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	オリンピックということが一目で分かるように、一競技が終わる毎に輪を台紙に掛けていき、五輪を完成させるようにした。 競技の終わりが明確になり、生徒も見通しをもって取り組むことができた。 
8主な課題等	特になし
9来年度以降の実施予定	・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの時期が近づけば、運動会等で、またオリンピック・パラリンピックと繋げて競技を考えたい。